



津山ロマン館の内裏雛（津山市）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

食道アカラシアに対する内視鏡治療

食道アカラシアに対する内視鏡治療

津山中央病院 内科 医長
さとみ たくや

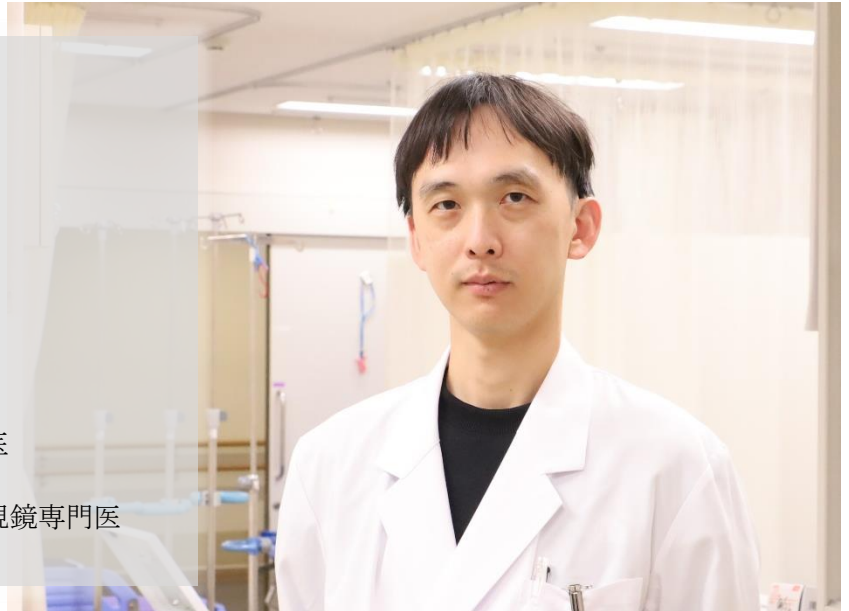
里見 拓也

専門領域

・消化器内科

専門医・指導医

- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本内科学会認定総合内科専門医
- ・日本消化器病学会認定消化器病専門医
- ・日本消化器病学会認定指導医
- ・日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医
- ・緩和ケア研修会修了



†食道アカラシアについて

食道アカラシアは、食事のつかえ感、食物の逆流、胸痛などの症状を生じ、生活の質が著しく低下してしまう疾患です。食道の下部には、下部食道括約筋(LES)がありますが、LESは普段は収縮しており、胃の内容物の逆流を防止しております。嚥下をした際には、食道がポンプのように上から下へと順行性に蠕動波を生じ、最後にLESが弛緩することで、飲食物がスムーズに胃に入っていきます。しかし、食道アカラシアになると、正常な食道の蠕動がみられなくなり、更にLESが弛緩しなくなることで、飲食物が通過できなくなってしまいます。その結果、食事のつかえ感や口の中への逆流などが生じてしまいます。

†食道アカラシアの検査・治療

食道アカラシアは、まず症状を詳しく問診し疾患を疑います。その上で、上部消化管内視鏡(EGD)、食道造影検査(バリウム)を行います。症状が比較的軽く、日常生活に大きな支障がない場合は、経過観察する場合がありますが、日常生活に困る症状がある場合には、治療を相談していきます。過去には外科手術(Heller-Dor手術)が第一選択でしたが、近年は内視鏡治療が行われるようになってきており、岡山では、岡山大学病院で治療を受けることができます。津山中央病院では、食道アカラシアの方には、岡山大学と連携し診療にあたっております。

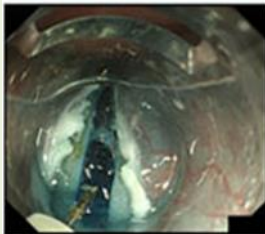
†食道アカラシアに対する内視鏡治療

食道アカラシアの内視鏡治療は、経口内視鏡的筋層切開術(Per-Oral endoscopic myotomy : POEM)といます。これは、弛緩しなくなったLESを内視鏡的に切開する事で、LESを緩める治療法です。方法としては、全身麻酔下での治療となりますが、まず切開する範囲の口側の食道粘膜を一部切開(エントリー作成)し、そこから粘膜下層(粘膜と筋層の間)に内視鏡スコープを潜り込ませていきます。

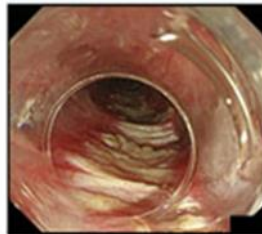
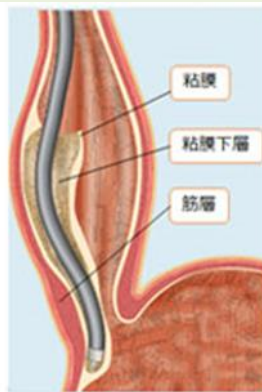
続いて、粘膜下層を剥離していき、筋層切開を行う範囲の肛門側まで粘膜下トンネルを作成していきます。粘膜下トンネルを作成した後、露出した筋層(食道を輪状に取り巻く内輪筋)を切開していきます。目標範囲の内輪筋切開が終了した後、エントリー部分の粘膜切開創を内視鏡クリップで縫縮し、治療は終了となります。通常の食道アカラシアでは、POEMの処置時間は90分程度であり、入院期間としては1週間程度となります。患者様は、POEMの翌日から食事をスムーズに摂取できるようになります。内視鏡手術でありますので、患者様は、体表に創を作る事ありませんし、治療効果も非常に高い(奏功率9割以上)、優れた治療法となります。

†食道アカラシアに対するPOEMの実際

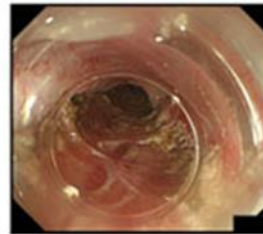
1.エントリー作成



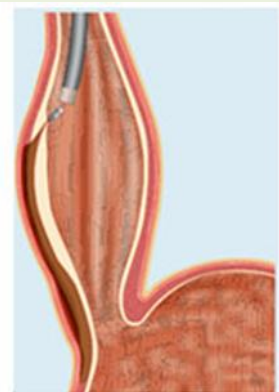
2.粘膜下トンネル作成



3.筋層(内輪筋)切開

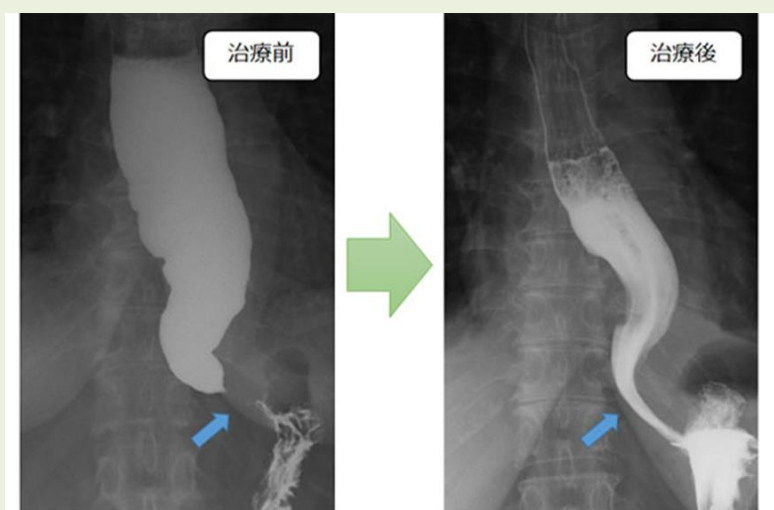


4.エントリー閉鎖



(岡山大学病院 食道疾患センターHP より引用。シェーマ図は Inoue H, et al. Endoscopy 2010; 42: 265-71.より引用)

† POEM 前後での食道造影所見の比較



治療前は LES が弛緩せず、食道に造影剤が停滞している。
POEM により LES の弛緩が得られ、造影剤がスムーズに通過している。

(岡山大学病院 食道疾患センターHP より引用)

† 最後に...

食道アカラシアは、頻度が高い疾患ではないですが、POEM の普及に伴い、全国的にも診断され治療を受けられる患者様は年々増加傾向です。良性疾患ではありますが、生活の質が非常に下がる疾患であり、治療によってそれが劇的に改善し得る疾患でもあります。疑わないと診断が難しい症例もありますので、食事のつかえ感などでお困りの患者様がいらっしゃれば、ぜひ当院へご相談いただければと思います。

セミナー・講演会情報

●CC セミナー (Web 併用のハイブリッド形式)

講演 『 最近の熱傷治療 』

- ・講師 形成外科 部長 藤原 一人 先生
- ・日時 2025 年 3 月 11 日 (火) 19 : 00 ~ 20 : 00
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

●第 3 回 「心疾患医療連携体制整備事業 岡山県北部研修会」

内容 『心不全緩和ケア・ACP 普及推進事業 心不全療養指導士取得の推進 』

- ・講師 津山中央病院 循環器内科 藤本 竜平 先生
特別講演 : 岡山大学病院 看護部 入院棟東 3 階 ICU/GICU 池淵 由佳 先生
- ・日時 2025 年 3 月 18 日 (火) 19 : 00 ~ 20 : 30
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室